

第6学年道徳指導案

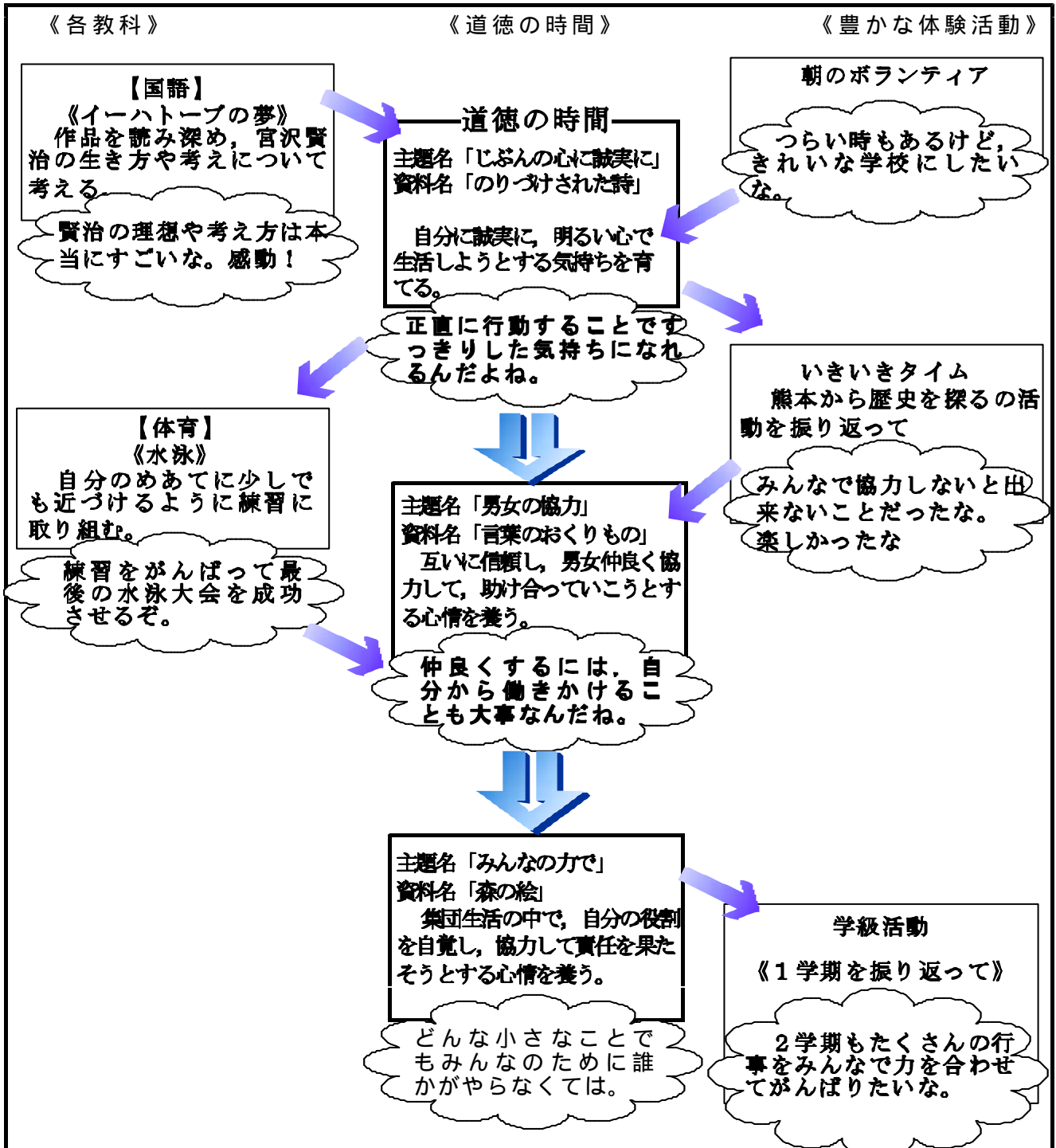
指導者 福留 忠洋

1 総合単元名「一人一人が輝いて」

2 単元のねらい

自分のよさを発見して、それを発揮しながら、みんなで協力して素晴らしい学校をつかっていこうとする心情を育てる。

3 単元構想図



4 主題名 「自分の心に誠実に」 1 - (4) 誠実・明朗

5 主題について

(1) 主題の位置とねらい

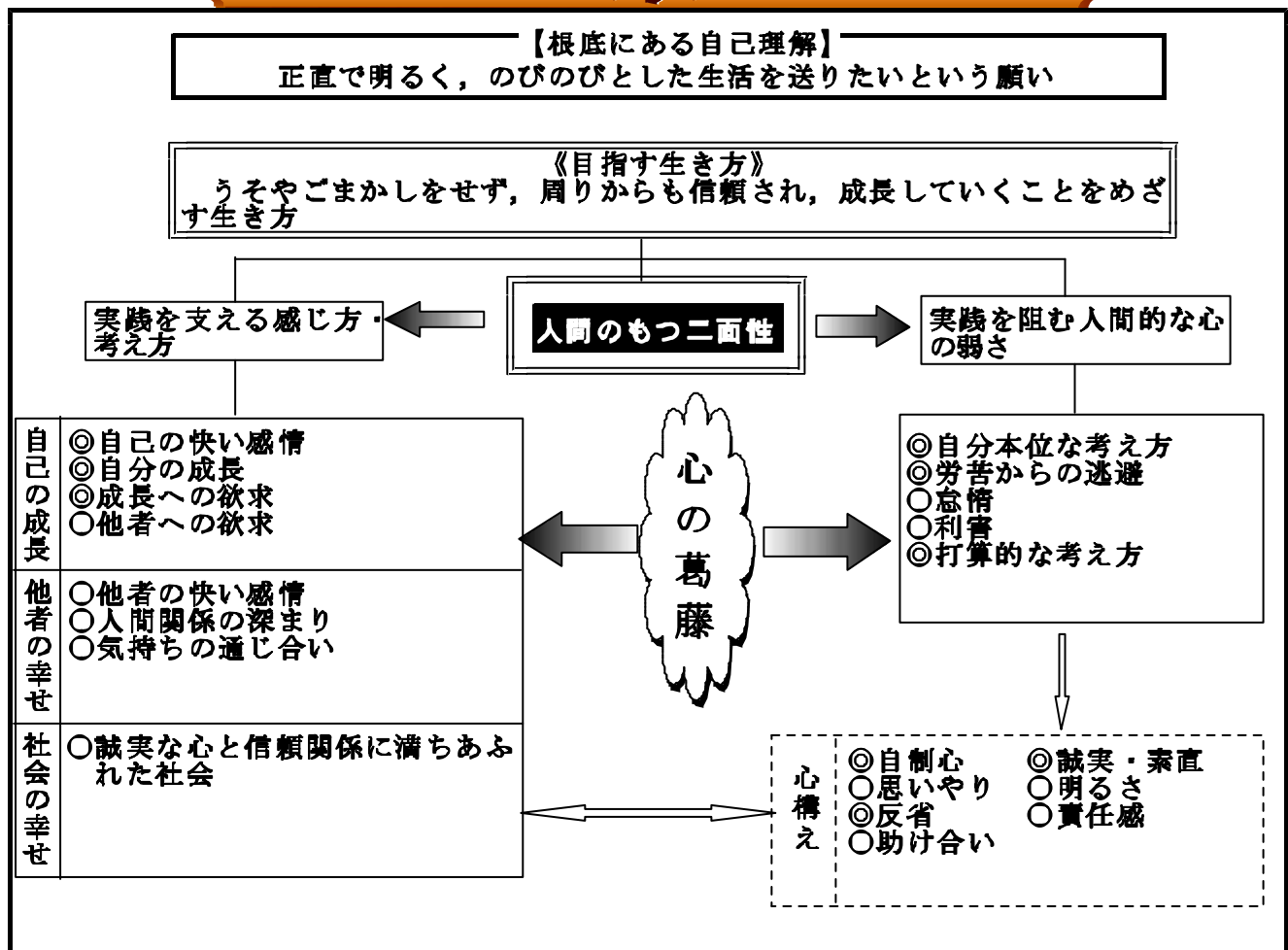
この期の子どもたちは、同年代の友達の内面的なよさに気づきはじめ、その友達と自分を比べることにより、自分もさらによりよい人間になり自信を持ちたいと強く願っている。また、明るい気持ちで自信を持って生活するためには、うそやごまかしをせず、正直に行動することが大切であることも理解している。

しかし実際には、正直に行動しなければならないのに「自分本位な考え方」や「労苦からの逃避」などの人間的なこころの弱さから、できなかった経験を持つ者も多い。

そこで、本主題では、心の弱さと自分に誠実に生きたいと思う気持ちの間で揺れ動く心情に焦点を当て、その心情の変化を多面的に追求する活動を通して、自分にうそやごまかしをせずに正直に生きることのすばらしさを実感することで、自分自身を信頼して、誠実に生きようとする心情を育てることをねらいとしている。また、自分の心の中にある「誠実に生きたい」という願いに気づかせることにより、毎日の生活を明るい気持ちでさわやかに過ごそうとする意欲や態度を高めていきたい。

このような学習を通して身に付けた見方・考え方・感じ方は、真の信頼関係を築き助け合っていこうとする心をさらに深めていく学習へと発展していくことになる。

《内容項目 誠実・明朗》



(2) 指導の基本的な立場

自分に誠実に、明るく心で生活しようとする生き方に関わる人間理解については、前ページの内容項目構造分析表のようにとらえることができる。

すなわち、うそやごまかしをせず、周りからも信頼され、成長していくことをめざす生き方について自覚を深めるためには、自分の心に誠実に生活することで大きな成就感を味わうことができ、それが自分の成長や自信につながっていくことを理解させることが大切である。また、それが相手との心の交流を生み、信頼関係を築き、望ましい集団社会の形成につながっていくことも理解させたい。

しかし、望ましい生き方を阻みがちな「自分本位な考え方」や「打算的な考え方」などの人間的な心の弱さから容易に実現できない自分であることに気づかせ、それらの心の弱さを乗り越え実践していくことが願いを実現する生き方であることを実感させる必要がある。

そのためには、自分の行動を客観的に見つめ、反省しながら、誠実に生きることの素晴らしさに気づかせていくことが重要である。

(3) 資料について

資料名「のりづけされた詩」学研読み物資料

この資料は、学級文集に詩を書くことになった和枝が、何を書こうか考えて題材は決まったものの、題名と書き出しが浮かばず困ってしまい、他人の詩のよいところをまねしてしまう。しかし、その詩を提出したあと、後悔から悩んだ末に、先生に相談して気持ちをすっきりとさせるという粗筋である。

「のりづけされた詩」は、つい意に反することをしてしまったという、日常生活でありがちな状況を設定してあり、それを正直に話そうかどうしようかと悩む場面についても、同じような経験を児童は想起しやすい。主人公の和枝が、どうしても正直に話さずにはいられなかった心情を共感的に捉えさせることが出来るものとする。

この資料によって身につける能力や態度は、子ども自らが誠実に生きることの素晴らしさを理解しながら、明るく自信を持って生きることの喜びや楽しさを実感するために生きて働くものとする。

(4) 児童の実態

【調査 1】正直に行動できた経験とその時の気持ち。

- ・物を壊してしまったが正直に言えた。 5
- ・間違いを間違いと言えた。 8
- ・おつりを使ったと言えた。 1
- ・忘れ物をした時正直に言えた。 5
- ・落し物を届けた。 6
- ・教室で暴れたことを先生に言えた。 3
- ・人に意地悪したことを言えた。 2

・思い出せない。

- ・言えてよかった。 10
- ・ほっとした。 6
- ・すっきりした。 6
- ・くせになるとこだった。 2
- ・正しいことができてよかった。 4
- ・気分が良かった。 4

【調査2】正直に行動できなかつた時の理由

- ・何か言われそう。 7
- ・怒られると思った。 8
- ・面倒くさかった。 4
- ・別にいいかなと思った。 3
- ・どうせ誰にも分からないし。 5
- ・悪いとは思ったけど言えなかつた。 5

【調査3】正直に行動することが大切だと思う理由

- ・悪いことが積み重なると自分が悪くなってしまう。 8
- ・人間性を高めるため。 5
- ・立派な大人になるために。 2
- ・自分の心が弱くなるかな。 2
- ・ずるはいけない。 5
- ・自分の心に正直でないと悪いことを悪いと思えなくなる。 1
- ・周りの人に迷惑がかかる。 3
- ・友達と仲よくできる。 4
- ・大切なこと。 1

【調査4】正直に行動することが大切だと思う心構え

- ・周りのことを考えて行動する。 3
- ・自分に言い聞かせる。 5
- ・よく考えて行動する。 4
- ・正直に言うことを言い聞かせる。 3
- ・人の嫌がることをしない。 3
- ・何事にも向かっていく。 3
- ・自分に厳しく，他人に優しく。 3
- ・他人の気持ちやそれが本当に正しいか考える。 4
- ・いけないことはしないと心に決める。 3

【考察】

本学級の子どもたちは「誠実・明朗」の経験とそれにもなう感情の認識は上記の通りである。【調査1】より本学級の子どもたちは、正直に行動できた経験やその後の心地よい感情は多種多様である。しかし、【調査2】のできなかつた経験を見てみると、自分本位な考え方や労苦からの逃避、打算的な考え方からできないことも多いようである。【調査3】の大切だと思う理由としては、「自分が悪くなってしまう」などの自分自身のよりよい成長ために大切だという考えや周囲へ不快な思いをさせてしまうからなど、一人一人経験をもとにして、正直に生きることの大切さを書いている。【調査4】の心構えからは、「自分に言い聞かせる」や「よく考えて行動する」など自分自身のこととしてとらえていたり、「周りのことを考えて行動する」や「人の嫌がることをしない」など相手の立場を考えたとらえ方をしているようである。以上の点から正直に行動することは、自分自身をよりよく成長させるために大切であり、それが同時に周囲に対してもよりよい関係を生み出すことを実感させいきたい。

6 本 時

(1) ねらい

自分の心に誠実に行動することで、自分のよさに気づき、明るい心で生活しようとする心情を育てる。

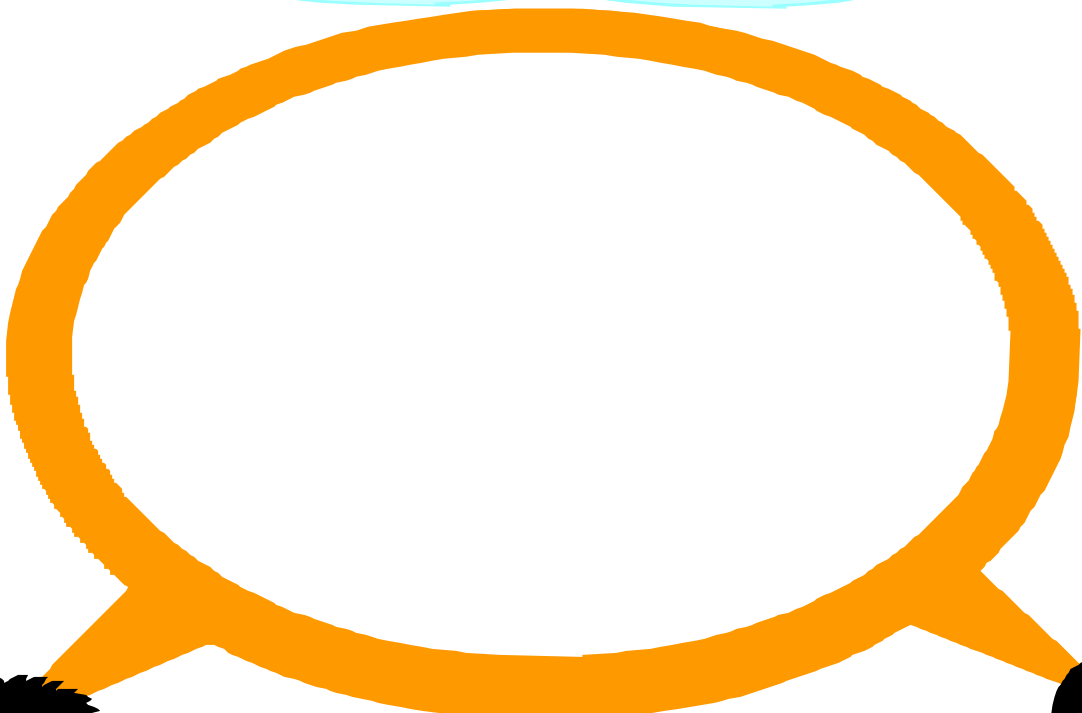
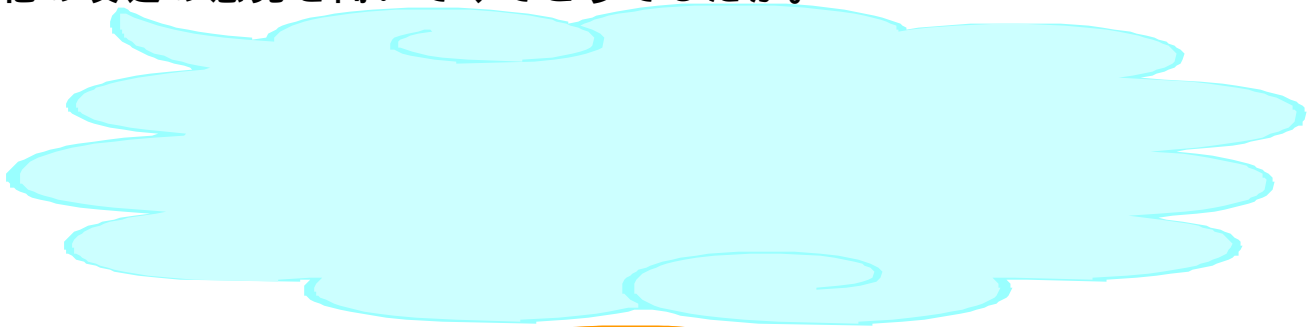
(2) 本時の展開

過程	主な学習活動	時間	主な支援活動と留意点
つかむ	1 正直に行動できたすばらしさについての資料を見る。 2 正直に行動するためにはどうすればいいか考える。 (1) 正直に行動できた経験を発表する。 (2) 正直に行動できなかった経験について発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">正直に行動するためにはどんな気持ちが必要だろうか。</div>	6	教師の中学時代の出来事を日記で紹介し、正直に行動できることの大切さを知る。 実態調査をもとに、できた経験やできなかった理由を意図的指名により発表させ問題意識を高めさせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> ☆正直に行動したいという願い ☆快い感情 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 5px;">自己矛盾</div> ☆自分本位な考え方 ☆労苦からの逃避 </div> 実態調査 ↓ <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">【共通課題】</div> ↓ <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">自分の心に誠実に生きることの大切さの追求</div>
	3 資料「のりづけされた詩」を読んで、自分に正直に生きることについて話し合う。 (1) 「心のなかは、・・・」と感じた時の和枝さんの気持ちについて考える。 (2) 先生に正直に打ち明けた時の和枝さんの気持ちについて考える。 (3) のりづけされた詩が完成した時の和枝の気持ちについて考える。	2 8	資料を範読テープにより一読した後、感想を中心に問題場面を焦点化していく。 中心場面での主人公のゆれ動く気持ちに焦点をあて、その弱さについての考えを類型化し、話し合うことで、実践を阻む心を深く追求していく 登場人物が弱さをのりこえるに至った心構えを、児童同士の聴き合いを通してより深く考えさせる。
ふりかえる	4 自分の心に誠実に生きることの大切さについて話し合う。 (1) 自分に誠実に生きることについて道徳ノートに書く。	6	資料を通して練り深めてきた価値観を基にして、本時の学習を振り返ることで自分に正直に生きようとする自覚を深める。
ひろげる	5 心温まる詩の朗読を聴く。	5	実践意欲を高めるため、詩『つまづいたおかげで』を聴かせ、余韻を持って終わる。

和枝さんはどうして、そこまでして正直にいうことができたのだろう。

なぜ言えたのだろう ～ かんたんに～	その理由をもうすこしくわしく考えてみよう。

他の友達の意見を聞いてみてどうでしたか。



《今日の感想を書いてみよう》